

ニュータウンの課題と解決策を考える

アクティブな椿峰ニュータウンをめざして

椿峰ニュータウンは狭山丘陵の端部、山口地区と小手指地区の境界部に位置し、乱開発を抑止し、良好な住環境を創出することを目的として1970年代に計画され、良好な住環境を維持するため、「所沢市椿峰協定」が結ばれました。

椿峰は抑制された建築と豊かな緑地が共存し、狭山丘陵の自然と一体となった緑豊かなニュータウンとして成熟しましたが、その椿峰にも住民の高齢化やコミュニティの空洞化、空き家の増加や公共施設の老朽化など、計画住宅地ならではの課題が見られるようになりました。

本シンポジウムではそのような椿峰のまちづくり上の課題を整理し、住民と行政が協力して新しい住宅地のあり方を見出すため、まちづくりの専門家をお招きして、討議を行います。

入場
無料

プログラム

第1部：近況報告

椿峰におけるまちづくりの近況

第2部：討議

まちづくりとルールのあり方を考える

講師 小笠原 邦夫

再開発／都市計画コンサルタントとして全国各地のまちづくりに関わり、埼玉県内では埼玉県、さいたま市、草加市、上尾市のまちづくりに関わる。所沢市内では都市計画マスタープラン作成業務、市街化調整区域建築密度調査、北秋津・上安松地区自然環境調査、東所沢サニータウン地区及びフラワーヒル地区の地区計画策定支援業務等に関わる。

モデレーター(司会) 藤村 龍至

建築家／東京藝術大学准教授。1976年東京生まれ。2005年よりRFA主宰。2016年より現職。2017年よりアーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長、鳩山町コミュニティ・マルシェ総合ディレクター。所沢市において景観審議会委員長・寿町歴史的建造物整備活用基本方針策定委員会委員等を務める。

・シンポジウムの内容については、4月中旬以降に所沢市のホームページにて動画配信も行う予定です。



日時 2022年3月27日 14:00-17:00
(開場13:30)

会場 椿峰コミュニティ会館別館 ホール
(所沢市山口5057)

ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください

- ・小手指駅南口から西武バス椿峰ニュータウン行き「中央公園」下車
- ・下山口駅から徒歩15分

定員 100人
(事前申し込み必須)

対象 どなたでも
参加できます

申込

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大変お手数ですが事前申し込みを必ずお願いいたします。申し込みがない場合お断りをさせて頂く場合がございます。

・申し込み方法：都市計画課に来庁、電話または電子申請
3/18を申し込み締め切りとしておりますが、予約の枠に空きがございましたら、3/18以降も申し込みできますので都市計画課にお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ先

所沢市 街づくり計画部 都市計画課

住所：〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1 高層棟5階

電話：04-2998-9192

FAX：04-2998-9163

a9192@city.tokorozawa.lg.jp

